

8 センタールーフ重ね葺き工法

8-4 下葺材の施工

防水強化仕様

重ね葺き工法：耐水合板施工
葺き替え工法

4) 防水強化仕様

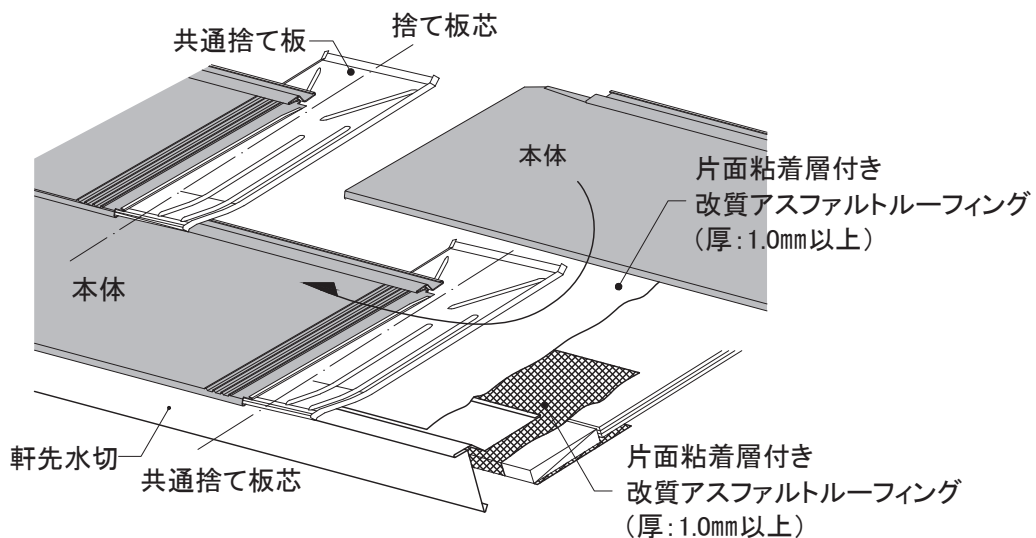
本施工法は重ね葺き工法の耐水合板仕様および葺き替え工法で「屋根勾配2.5寸以上3.5寸未満」の緩勾配屋根に適用されます。

【使用する下葺材】

片面粘着層付き改質アスファルトルーフィング、アスファルトルーフィング940(JIS A 6005)、改質アスファルトルーフィング：厚1.0mm以上

重ね代 (下葺材：片面粘着層あり)	重ね代 (下葺材：片面粘着層なし)
<ul style="list-style-type: none"> ●重ね代は、縦方向100mm、横方向200mm以上とします。 ●上下段の重ね部は2000mm以上ずらしします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●重ね代は、縦方向550mm、横方向200mm以上とします。 ●上下段の重ね部は2000mm以上ずらしします。

捨て板・板金取り合い部



- 上図『軒先水切』の他、『谷板金』『捨て水切』などの水切部材と下葺材の取り合い部も同様に、防水テープを施工します。
- 野地板腐朽防止のため、軒先水切施工前に片面粘着層付き改質アスファルトルーフィングで軒先先端を巻き込みます。
- センタールーフの共通捨て板は、本体左右接合部に図のように施工します。共通捨て板の中心がセンタールーフ本体右端部となるよう位置を合わせて取り付けます。上下の共通捨て板が重なるような割り付けは避けてください。
- 共通捨て板には、本体・役物の釘・ビスなどで孔をあけないでください。